

死生学演習 臨床死生学・倫理学研究会
「臨床死生学の諸問題」

参加自由

担当:清水哲郎、山崎浩司(上廣死生学講座)

曜日・時限:水・5/6

教室:215(法文1号館)

概要:臨床死生学およびその周辺の諸問題に関して、参加者の自発的な研究発表とそれに基づく討議を行う。参加者は各自関心を持つトピックを選んで、発表を目指して調査・研究を進めることが望ましい。なお、ここでは「臨床死生学」という名の下に、さあたって、医療・介護の現場で生と死を考えざるを得ないような状況に臨みつつ行う知的な学びを考えている。しかし、発表のテーマは必ずしもこれに限定されるわけではない。(発表者はコピーを10数部用意してください。)

予定:

<夏学期>

04月18日 概要説明

05月09日 早川正祐 「行為論におけるケア概念」

05月23日 Roger Ames教授(ハワイ大学・哲学)講演会

「有神論的ではない宗教性」17:00~18:30 219号教室

06月06日 福間 聡 「価値の規範性——構成主義に基づく一解釈」

06月27日 圓増 文 「自由によって形成される信頼関係」

07月11日 宮崎裕子 「臓器移植を受けるということはどういうことか」

07月25日 梶原景月 「コンパニオンアニマルの安楽死について——その現状と問題点」

<冬学期>

10月10日 福間 聡 「死生学リカレント教育カリキュラムについて」

11月21日 清水哲郎 「臨床死生学ベーシックの構想」

11月28日 山崎浩司 「「泣ける」死の物語の問題性——マンガ『イキガミ』を題材に」

12月05日 Douglas Davies教授(ダラム大学・神学/人類学)特別講義 [別のチラシ参照]

「生の様式と死の様式の関係」15:00~16:30 (法文2号館第三会議室)

12月19日 田代志門 「死の臨床における世代継承性の問題——在宅がん患者の

「病いの経験」への接近」

01月23日 諸岡了介 「現代の看護における〈お迎え〉体験の語り——在宅ホスピス遺族アンケートから」

なお、本演習の参加者は、多分野交流演習「『生命と価値』論のフロンティア」(4月25日、5月16日、6月13日、7月4日、10月17日、11月14日、12月5日、1月9日開催)にも、合わせて参加することをお奨めする。

以上